

## 目標達成計画

作成日：平成 24 年 9 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束にあたりうる、各ユニットの電気錠制御を行っている。	身体拘束として位置づけられる各ユニット入り口の施錠は家族様の同意をいただいた上で各ユニットで話し合い、一日に少しの時間でも開錠できるようにする。	まずは各フロア一単位で話し合い、見守れる時間に何時間開錠できるかを検討する。その上で家族様にも同意を得て開錠していく。不都合があれば都度話し合いの機会を持ち、時間の短縮や変更も随時検討する。日曜日は比較的可能な時間もあるので曜日によっても検討する。	3ヶ月
2	10	家族様の意見が反映されているかが判らない。	家族様の意見は言われる家族様には返答ができるが、言われていない家族様も思っているかもしれないので意見と返答のやり取りを伝える。	毎月のお便りがあるので、もし家族様より意見等があれば家族様よりの意見と返答を記載するようにし全家族様へもお伝えできるように致します。	6ヶ月
3	26	ケアプランが実際のケアにいかされているか？またモニタリングをする上でもモニタリングしやすいように工夫する。	日々の介護記録にケアプランに則した記録をしていき、モニタリングにも生かす。	ケアプランを全職員が閲覧できるようにファイリングし介護記録に反映できるような記録の研修を行う。また、モニタリング時にも確認しやすいような記録にできるように色分け等を検討し実施していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。